

中学校音楽科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点			
1	1	※ 別紙 (計1枚)		問いを正しく捉えてい れば、内容は異なってい てもよい。	50	95	
	2	(1)	(オ)		各 5 × 4		
		(2)	(カ)				
		(3)	(ア)				
		(4)	(エ)				
	3	(1)	箏、三味線、尺八 (又は胡弓) の3種の楽器で合奏すること。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。		5
		(2)	①	(う)			各 5 × 4
			②	(お)			
			③	(あ)			
			④	(い)			

中学校音楽科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点								
2	<p>題材名（沖縄音階の特徴を生かして旋律をつくろう）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">時 間</td> <td style="text-align: center;">学 習 活 動</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄音階の特徴を捉える。</li> <li>・郷土の様々な民謡に用いられている五音音階を基に、自由に音を出してみる。</li> <li>・自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、沖縄音階の特徴を学級で共有する。</li> <li>○沖縄音階を用いた短い旋律をつくりながら、音のつながり方の特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。</li> <li>・いくつかの楽器で沖縄音階を用いた短い旋律をつくる。</li> <li>・音色による感じ方の違いや、音のつながり方による感じ方の違いについて話し合う。</li> <li>・沖縄音階で音楽をつくることを確認する。</li> <li>○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。</li> <li>・沖縄音階を基に、自由に音のつながり方を試しながら、分かったことや気付いたことをワークシートに書く。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表したいイメージをもち、音階や音のつながり方の特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。</li> <li>・沖縄音階を基に、自由に音を出しながら、表したい創作表現について考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜音楽をつくる際の課題や条件＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①イメージについては、「2つのこと（もの）が時間の経過とともに、どのように変わっていくか」ということを基に考える。</li> <li>②表したいイメージと関わらせながら、8小節の旋律をつくる。</li> <li>③沖縄音階を用いる。</li> <li>④いくつかの楽器を試し、イメージに近づける。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいイメージについて、実際に「沖縄音階を用いた旋律」をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の海で、カメと熱帯魚が泳いでいる様子</li> <li>・中学生二人の会話が、だんだん盛り上がっていく様子</li> <li>・赤と白のハイビスカスの花が咲く様子</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。</li> <li>・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音階や音のつながり方の特徴と表したいイメージとを関わらせて、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</li> <li>・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。</li> <li>・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。</li> <li>・つくった旋律を発表し、学級全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。</li> <li>○題材のまとめと振り返りをする。</li> <li>・沖縄音階の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて学級全体で意見交換をする。</li> <li>・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。</li> </ul> </td> </tr> </table>	時 間	学 習 活 動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄音階の特徴を捉える。</li> <li>・郷土の様々な民謡に用いられている五音音階を基に、自由に音を出してみる。</li> <li>・自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、沖縄音階の特徴を学級で共有する。</li> <li>○沖縄音階を用いた短い旋律をつくりながら、音のつながり方の特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。</li> <li>・いくつかの楽器で沖縄音階を用いた短い旋律をつくる。</li> <li>・音色による感じ方の違いや、音のつながり方による感じ方の違いについて話し合う。</li> <li>・沖縄音階で音楽をつくることを確認する。</li> <li>○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。</li> <li>・沖縄音階を基に、自由に音のつながり方を試しながら、分かったことや気付いたことをワークシートに書く。</li> </ul>	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表したいイメージをもち、音階や音のつながり方の特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。</li> <li>・沖縄音階を基に、自由に音を出しながら、表したい創作表現について考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜音楽をつくる際の課題や条件＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①イメージについては、「2つのこと（もの）が時間の経過とともに、どのように変わっていくか」ということを基に考える。</li> <li>②表したいイメージと関わらせながら、8小節の旋律をつくる。</li> <li>③沖縄音階を用いる。</li> <li>④いくつかの楽器を試し、イメージに近づける。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいイメージについて、実際に「沖縄音階を用いた旋律」をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の海で、カメと熱帯魚が泳いでいる様子</li> <li>・中学生二人の会話が、だんだん盛り上がっていく様子</li> <li>・赤と白のハイビスカスの花が咲く様子</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。</li> <li>・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。</li> </ul>	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音階や音のつながり方の特徴と表したいイメージとを関わらせて、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</li> <li>・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。</li> <li>・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。</li> <li>・つくった旋律を発表し、学級全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。</li> <li>○題材のまとめと振り返りをする。</li> <li>・沖縄音階の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて学級全体で意見交換をする。</li> <li>・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。</li> </ul>	<p>題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	65
時 間	学 習 活 動										
第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄音階の特徴を捉える。</li> <li>・郷土の様々な民謡に用いられている五音音階を基に、自由に音を出してみる。</li> <li>・自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、沖縄音階の特徴を学級で共有する。</li> <li>○沖縄音階を用いた短い旋律をつくりながら、音のつながり方の特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。</li> <li>・いくつかの楽器で沖縄音階を用いた短い旋律をつくる。</li> <li>・音色による感じ方の違いや、音のつながり方による感じ方の違いについて話し合う。</li> <li>・沖縄音階で音楽をつくることを確認する。</li> <li>○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。</li> <li>・沖縄音階を基に、自由に音のつながり方を試しながら、分かったことや気付いたことをワークシートに書く。</li> </ul>										
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表したいイメージをもち、音階や音のつながり方の特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。</li> <li>・沖縄音階を基に、自由に音を出しながら、表したい創作表現について考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜音楽をつくる際の課題や条件＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①イメージについては、「2つのこと（もの）が時間の経過とともに、どのように変わっていくか」ということを基に考える。</li> <li>②表したいイメージと関わらせながら、8小節の旋律をつくる。</li> <li>③沖縄音階を用いる。</li> <li>④いくつかの楽器を試し、イメージに近づける。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいイメージについて、実際に「沖縄音階を用いた旋律」をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">＜予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の海で、カメと熱帯魚が泳いでいる様子</li> <li>・中学生二人の会話が、だんだん盛り上がっていく様子</li> <li>・赤と白のハイビスカスの花が咲く様子</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。</li> <li>・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。</li> </ul>										
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音階や音のつながり方の特徴と表したいイメージとを関わらせて、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</li> <li>・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。</li> <li>・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。</li> <li>・つくった旋律を発表し、学級全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。</li> <li>○題材のまとめと振り返りをする。</li> <li>・沖縄音階の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて学級全体で意見交換をする。</li> <li>・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。</li> </ul>										

中学校音楽科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
3	<p>例えば、「怖い曲ですね。」「焦っている様子が分かります。」など、教師が感じ取った曲想を伝えたり、「魔王は通作歌曲です。」など、その曲の形式などを覚えられるようにしたりする、ということに留まらず、「旋律の変化は子のどのような様子を表しているのでしょうか。」「なぜそのように感じたのでしょうか。」と問うなど、生徒が曲想を感じ取り、感じ取った理由を、音楽の構造の視点から自分自身で捉えていく過程を重視した指導。</p>	<p>問いを正しく捉えていけば、内容は異なっていてよい。</p>	各 10 × 2	20	
	<p>例えば、「この曲の、3連符のリズムが用いられている前奏は、嵐の中を走る馬のひづめの音のように聴こえて、これから始まる物語の予告のようで惹き付けられる。」など、曲や演奏のよさや美しさに対する自分なりの評価について、曲想と音楽の構造との関わりなどを根拠として挙げながら言葉で表し、他者に伝える活動を取り入れた指導。</p>				
4	1	<p>長音階の場合はド、短音階の場合はラをそれぞれの主音として、その調における相対的な位置を、ドレミファソラシを用いて示す階名を用いて歌うこと。</p>	<p>内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。</p>	10	20
	2	<p>範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能。</p>	<p>内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。</p>	10	

1

1

著作権保護の観点により、掲載いたしません。